

## 会議の概要

### 令和５年度 第４回

## おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

兼 ○ 大玉中学校学校運営協議会

日 時：令和５年９月１９日（火）１６：３０～１８：００

場 所：大玉中学校 体育館

（進行：大玉中教頭 星 雅人）

#### １ 開会のことば （おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 吉田 都）

皆さん、こんにちは。オープンスクールに引き続き、これより令和５年度大玉中学校学校運営協議会並びに第４回おおたま学園コミュニティ・スクール委員会（以下ＣＳ委員会と略記）を行います。どうぞよろしくお願いいたします。

#### ２ 教育長あいさつ （大玉村教育委員会教育長 渡辺 敏弘）

みなさん、こんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。ＣＳ委員のみなさまには、今日は授業参観をしていただき、その後分科会にオブザーバーとして参加いただきました。分科会はおおたま学園の先生方の協議でしたので、難しい部分もあったと思いますが、幼小中の先生方の熱心な姿を見て感じていただけたのではないかと思います。オープンスクールは、確かにＣＳの充実、おおたまの教育の充実につながっていると考えます。

また、大玉中学校の先生方には授業提供、そのための準備等本当にありがとうございました。お陰さまで、子どもたちの姿や真剣に学ぶ姿を参観することができて嬉しく思いました。

さて、本日の学校運営協議会は基本的には大玉中学校に特化した形の協議会ということになります。テーマ等については後で説明があると思います。ぜひ忌憚のない意見を出してください。また、昨年に引き続き、中学生も熟議に参加します。ぜひ、子どもたちの声もじっくりと聴いていただければと思います。また、中学生のみなさんにとっても貴重な機会ですので、自分が感じていることや思っていること等を積極的に発言してください。限られた時間ではありますが、学校の課題解決の糸口にしていただければとても有意義な学校運営協議会になると思います。どうぞよろしくお願いいたします。



#### ２ おおたま学園ＣＳ委員会会長あいさつ （おおたま学園ＣＳ委員会会長 矢吹 吉信）

みなさま、改めましてこんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただきまして本当にありがとうございます。

まず最初に大玉中学校の先生方、オープンスクールに向けて学習活動や部活動等で忙しい中のご準

備等とても大変だったと思います。本当にお疲れさまでした。特に授業をされた先生方、本当にお疲れだと思いますが、もうちょっとで終わりますので、早く家に帰ってゆっくり休んでいただきたいと思います。

私は、授業参観と分科会に参加させていただきました。授業をされた先生方、そして幼・小・中の先生方が、大玉村の子どもたちのために「こうした方がよかったんじゃない?」「ああした方がよかったんじゃない?」というような熱い議論をしているのを見て、オープンスクールは意義あるものだと思えたところです。

また、今日は楽しみにしていたのですが、子どもたちも入ってこれからの大玉中について熟議をすることができます。こういった機会ですので、みなさん、何でも言ってください。言われたことをすべて実現できるかどうかは分からないのですが、なるべくみなさんの夢を叶えたいと思っていますので、これからの大玉村や大玉中をこんなふうにしたいということがあれば、遠慮しないで話してほしいと思います。一つでも実現して、「大玉村の大人は言ったことをやってくれるんだ」と感じてもらいたいと思っています。今日は限られた時間ではありますが、緊張せず参加してください。本当に今日は楽しみにしておりますので、先生方、委員のみなさんどうぞよろしくお願いいたします。



#### 4 大玉中学校教職員自己紹介 … 本日参加した大玉中の教職員が自己紹介を行う。

#### 5 協議

##### (1) 本日のテーマについて (大玉中学校長 久保寺 徹)

大テーマは「～これまでの大玉中、そして、これからの大玉中～」で、サブテーマとして3つ掲げてあるのですが、どれを選択しても構いません。また、1つだけではなくて2つ、または3つ全部について話し合っても構いません。時間が許す限り選んでいただきながら、一番話しやすいようなものを探して話し合いをしていただければと思っています。

次にその内容についてです。

##### ① 大玉中の伝統は … 守りたいもの、取り戻したいもの、新しく築きたいもの

別紙の学校だより『あだたら No.3』をご覧ください。すでにご覧になった方もいらっしゃると思いますが、実は私が個人的に思ったことをそのまま載せさせていただきました。大玉中学校のよき伝統であり、コロナ禍で失ったものを取り戻したいと思ったものは「校歌」なのです。

かいつまんでお話ししますと、私が以前教諭として勤めていた頃は、卒業式や入学式、全校集会等で披露される全校生による校歌斉唱は、聴いている教職員や保護者、来賓等が感動する程の迫力がありました。これは、私が務めた数ある学校の中でも間違いなくナンバー1でした。魂がこもった歌声というのはこういうものだと感じました。しかし、コロナ禍で「マスクをする」、「大きな声は出さない」という指導が3年続き、私が着任した時にはそういう感じの校歌斉唱になっていました。今現在、まだまだマスクを外せないこともあるのですが、ぜひ(来年の)3月(の卒業式)に向けてこの校歌を取り戻したいと思っています。今回、そんな気持ちで学校だよりを書かせていただきました。いろんな方から「そうだよね」、「そうだったよ、感動したあの校歌を聴きたいよね。」

という声がたくさんあがっているのも事実です。

これにつきましては、実は取り戻したいものとして私はこう考えています。

「大玉中学校の伝統」と言いますが、必ずしも昔からつながつているものではなくて、ほとんどが新しく築いたものだと思っています。よって、過去のよかったこと、昔の大玉中にいてよかったこと等を子どもたちに教えていただければありがたいですし、それは今の中学生に良い影響となると考えます。「守りたいもの」、「取り戻したいもの」、そして「新しく築きたいもの」ということでお話しいただければ幸いです。

## ② 大玉ブランドを発信するためには…

「大玉プライド」という言葉は校内でも浸透しているわけですが、それを村外や他校に発信するためにはどんな手立てがあるのかというのがその内容です。村内ですごく盛り上がっているのですが、それを外部に発信する工夫について話し合ってください。

## ③ 地域の人たちと共にできることは…

これは、どちらかというと中学生から出してもらいたいことです。（地域の人たちと共にできること、一緒にやってみたいこと等）大玉中学校は他の中学校に比べて「地域と共に」という部分ではすごく恵まれています。非常に多くの活動が行われていると思います。

中学生は中学生なりに「村のみなさんとやってみたいこと」をぜひ出してほしいと思いますし、大人の側からも「実は中学生とこんなことをやってみたい」というようなことを出していただけるとありがたいです。

私がこうして話している間にみなさんの頭に何か浮かんできているのではないのでしょうか。そういうことを班の中で出していただきながら、進めていただければと思っています。いろんな意見を出していただけることを期待しております。



## （２）グループ協議のすすめ方について （大玉中教頭）

### <議題について>

大玉中生と先生方、地域の方々と一緒に築き上げてきた大玉中の伝統を再確認することで、これからも大切にしていけるものや守っていきたいもの、そして新たに築き上げていきたいものを生徒や教職員、保護者や地域の方々のそれぞれの立場で意見を出し合い、お互いの思いを共有し、今後の学校教育活動の方向性を探る。

### <協議の進め方>

ア 進行役を中心に、各テーマに対して考えを出し合う。

- ・ 子どもたちの意見（黄付箋紙）
  - ・ 地域・家庭（保護者）の意見（ピンク付箋紙）
  - ・ 学校の意見（青付箋紙）
- をそれぞれ書き出す。

イ K J 法でそれぞれの考えを共有し、共通している内容についてさらに考えを深める。

### (3) グループ協議



### (4) 全体共有 ～各班の代表者による発表～

(進 行) 班の代表者はマイクを使い全体に向かってお話しください。

#### 1 班

<テーマ①>

- 文化祭の合唱をさらに盛り上げて欲しい。(継続して欲しい)
- 生徒の中の意見…文化祭ではクラス対抗が多いのだが、少し趣向を変え、部活動対抗の体育祭のようなものがあってもいい。
- 生徒会を中心とした委員会等の自主的活動があると、学校としてかなり活性化するのではないかな。

<テーマ②>

- 大玉ブランドの発信について (大玉村を知ってもらうために)
  - ・ 田んぼアート
  - ・ 大型の掲示板に大きいQRコードを記しておいて、いつでもそれを携帯等で読み込むと、説明や案内が出るようにする。

<テーマ③>

- 大玉村に関するクイズ大会を行う。
- 田んぼアート
- 発信を地域ぐるみで行う。

#### 2 班

<テーマ①～③>

- 保護者や地域の方に学校の活動にもっと参加していただけたらいいのではないかなという話が出た。
- ネットで大玉の職場を調べる学習を行ったが、村には多くの職場があることが分かった。保護者等に学校に来ていただいて職場についてより詳しく聞くことができれば、楽しく調べ学習ができるので

はないかと考えた。

- 保護者同士の交流が少ない。部活動、親子奉仕活動等があるが、それを守っていくとともに新しいものを作ってもいい。
- 大玉中は積極的に地域貢献活動に取り組んでいて素晴らしい。今後は、それプラスもっとボランティアとしても参加して欲しい。
- 田んぼアートをやってみたい。

### 3 班

#### <テーマ①>

- 取り戻したいものは「校歌」
- 新しく築きたいものについて
  - ・部活動の地域移行について、村全体でじっくりと考えていかなければならない。
- 体育館を大きくする。

#### <テーマ②>

- 地域の自然や産業、文化、そして、子どもたちの姿を発信するとよいのではないかな。  
→ SNSの活用、TV、ラジオ等で流す

#### <テーマ③>

- 村を挙げてのイベント活動の実施



### 4 班 <テーマ③>について

- 地域のイベントに力を入れる。
  - ・オータム・フェスタ、カラオケ大会 等々
- 地域のつながり
  - ・コロナ禍でなくなってしまった交流を取り戻す。子どもたち同士の輪、小さな輪から大きな輪にし、そこから村全体につながっていくような「つながりづくり」が大切なのではないかな。
- 世代間の交流
  - ・大玉村の子ども、大人が交流する場をつくる。大玉村は伝統的な行事が多いので、年配の方から中学生に教えていただいたり、逆に中学生が家庭学習で学んだことを発表する場を設けたりするのもいい。
- 中学生がもっと積極的に前面に出るような場をつくる。
- CS委員会の組織に中学生を組み込むのもおもしろい。中学生の意見が反映されるようになる。
- 中学生が地域との架け橋になればいい。

### 5 班 <テーマ①>について

- 守りたいもの
  - ・部活動が活発なこと      ・あいさつや返事をしっかりやっていること
  - ・生徒会活動に積極的に取り組んでいること      ・地域と共に頑張っていること（地域学校協働活動）
- 取り戻したいもの
  - ・様々なつながり（生徒同士、男女、先生と生徒等）をもっと大事にしていきたい。そのために、コ

コミュニケーション力を高めていく。当たり前のことを当たり前にできるようにする。

- 新しく築きたいもの
  - ・地域の方々と取り組む行事、大玉村の自然が生かせる行事、挑戦するような行事等を地域の方々と創り上げていく。そして、それを発信する手立てがあればいい。

## 6 班 <全体的に>

- 校歌で交流をもちたい。
  - ・あいさつをすること、掃除をしっかりすること。(あいさつはしっかりと記憶に残るものである。)
  - ・一度も校歌を聴いたことがないので、聴いてみたいという声もある。校歌を元気に歌って交流を持てみたい。
- 大玉中の礼儀正しいところを発信したい。  
その一つとして、ボランティア活動をして地域とつながりをもてみたい。
- 世代間交流と関わることだが、大玉村は伝統的行事が盛んであるので、オータムフェスタで田植踊り等をするということも考えられる。(子どもだけではなく)  
また、一緒に作ったり、活動したり、育てたり、直売所で売ったり、体を動かしたり等職場体験の学習に生かしつなげていく。



## 7 班

<テーマ③>

- 今現在行われている職場体験や主に総合的な学習の時間を中心に行っている地域学習
- 大玉中の文化祭を地域の人たちも一緒に楽しめるよう広げていくこと
- 以前行っていた防災訓練を3年に一度実施する … 気候変動による災害の増加に備えるために
- ゴミ拾い等の地域貢献活動 … 地域の方と一緒に活動する機会をもつ

<テーマ①②>

- あいさつをもっと元気にする必要がある。
- 大玉ブランドとは何なのかをもっと話し合いを深めて明確にしていく → 自信を持って説明できるものに！

## 8 班 … 中学生の生の声を聴いて活発な話し合いになった。

<テーマ①>

- 校歌をぜひ大きな声で歌えるようにしてほしい。  
→ 大玉中の校歌を地域のたくさんの人に覚えてもらうようにする。  
→ 学校の集会活動、学年の行事等で行ってみたい。



### <テーマ②>

- 学校ホームページ … 生徒が関わって作ってみるのはどうか。

### <テーマ③>

- 過去行っていた地域運動会の復活、また、芋煮会等があると地域の方との距離が近くなっていいのではないか。

## 9 班 <全体的に>

- 大玉村の農業を守っていきたい。
- 継続していきたいもの
  - ・ イベントはたくさんあるのだが、コミュニケーションを大切にする → まずは「あいさつ」から
  - ・ 「あいさつ」 … 昔はあいさつ運動とかがあった。「こんばんは」「お帰り」等言葉をかえて交流することも大事。子どもから大人に声をかけるのがいい。(大人から声をかけると不審者として怪しまれることもあるので)
- 部活動の地域移行 … 大玉村は子どもと地域のつながりがある。継続できるところはやっていくようにしたい。
- 「学校から地域へ」 … 大玉中では今「虹の架け橋郵便」や「花畑運動」をしている。そちらについても継続して行ってほしい。
- 親子や仲間たちのふれあいを大切にする。「祭り」も大事。
- やれそうなこと
  - ・ 学校外奉仕活動（地域の方々と関わること、地域貢献） … 福祉施設も多いので、様々なボランティア活動にも取り組めるといいのではないか。

## 6 講 評

### （ おおたま学園CS委員会会長 ）

みなさん、お疲れさまでした。講評ということですが、一言感想を述べさせていただきたいと思います。

大玉中学校の先生方、CS委員のみなさん、そして大玉中学校の9名の代表のみなさん、今日はありがとうございました。みなさんの柔軟な発想でいろいろなご提案をいただきました。1つでもすぐにはできることはやっていきたいと考えておりますので、期待していただきたいと思います。お金のかかる話とか難しいこと等はちょっと後回しになってしまうのですが、すぐにでもできそうなことはさっそくやってみたいと思っております。本日はお疲れさまでした。本当に楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

## 7 御礼のことは

### （ 大玉中学校長 ）

本日は遅い時間まで、そして様々なご意見やアイデアを出していただき本当にありがとうございました。今、各班から発表をいただきましたが、たくさんありすぎて、メモしきれないほどでした。後で記録を精査しまして、今CS会長さんが話されたように前向きに実践していきたいと考えております。

私は、いつも「何か面白いことはないかな？」と考えていますが、今日はたくさん出てきてとても感動しました。生徒のみなさんに今回参加してもらいましたが、学校内ばかりではなく、地域を含めた大きなステージで実践することがたくさんあると感じたのではないのでしょうか。身近な友だちからでいいですので、ぜひ広めてみてください。「こんなことをやってみたらおもしろいね。」そんな程度

で結構です。ぜひそうやって、同じような考えをもつ人をどんどん増やしてもらいたいと思います。そうすることで、大玉村がどんどん活性化するんじゃないかと考えます。「中学校から大玉村を動かす」そんな気持ちでやっていただけたらいいなと思っています。

C S委員のみなさん、先生方、そして生徒の代表のみなさん本日はありがとうございました。

## 8 諸連絡

( 大玉中教頭 )

- ・ 本日のアンケートの記入・提出について … 記入後机上にあげておいていただきたい。

## 9 閉会のことば

( おおたま学園C S委員会副会長 館下 愛理 )

みなさん、授業参観から長い時間お疲れさまでした。私も久しぶりに中学校に入ったのですが、校長先生がかわられ、新しい先生もたくさんいらして、去年とはまた違う大玉中学校を見せていただき、とても楽しかったです。ありがとうございました。

これで、令和5年度大玉村立大玉中学校学校運営協議会並びに第4回おおたま学園C S委員会を終わります。お疲れさまでした。

